

第5章 みんなでつくる連携と協働のまちづくり

策定の視点

▼市民参加と協働のまちづくりに向けた体制の構築

地域の「コミュニティ活動や様々なまちづくり活動などの高まりに伴い、市民やNPO、ボランティア、事業者などの参加による協働のまちづくりが進展してきています。今後は、まちづくりに協力できる人材育成を図りながら、協働と参画によるまちづくりの推進に対応するシステムの確立を図る必要があります。

▼自治体としての執行体制の強化と持続可能な自治体運営

景気の動向や国、県の制度改正、地方分権などの影響を受けて、財政的にも厳しい状況が経常的なものとなりつつあります。そのため、行政評価システムの推進、組織や機構の見直し、職員数の適正化、職員の能力開発など、強力に行財政改革に取

り組み、限られた財源を重点的かつ効果的に配分しながら、健全な財政運営を図っていくことが重要です。

重点プロジェクト

わがまち感UPプロジェクト

- 市民との対話の機会など、市民と行政とのコミュニケーションを円滑化
- 意見公募手続など、公正の確保と透明性の向上を踏まえ、各分野の施策に市民の意見を反映
- 各種委員会や協議会への市民の参加機会を拡大
- 地域振興グループの助成などに参加しやすい環境づくりに推進
- 市民公益活動団体の活性化に向けて、市民活動情報を集約

し、提供する仕組みを検討し、本市出身者や市にゆかりのある人たちなどを登録する「ふるさと市民」の定着と拡大

○各分野で活躍する市外在住者に「ふるさと大使」を委嘱し、連携によるまちづくりを推進

○行政改革大綱に基づき、事業や行政組織の見直し、民間委託の推進などにより計画的な定員管理

○市町村合併については、国の動向や県が示す将来目指すべき合併パターンを踏まえながら、周辺市町村との関係を構築

○行政評価を活用して事務事業の効率化を図りながら、総合計画の進行管理と連動した予算編成

○市民からの提案型事業の活用を図るなど市民ニーズに応じた優先化、重点化した財源配分を実施

○行政経営の視点から、財政指

標や財務諸表に基づく分析を踏まえ、事業の優先順位の設定や負担とサービスの適正化

最後に困っている人が少ないかすみがうら市になってほしいです。住んでいる人も、働いている人も、笑顔を忘れずに暮らしていけたらいいなあと思いましたが、どついたら、その願いがかなうか私はまだ考えつきませんが、これから、色々な勉強をする中で、少しずつ考えていきたいと思えます。そして、私の住んでいる上佐谷に来ておいしい果物を食べてみてください。

作文コンクール作品 《教育長賞》

後期基本計画策定にあたり平成22年度に実施した作文コンクールの入賞作品を紹介します。
今回は、上佐谷小学校4年生当時の作品を紹介します。

「未来のかすみがうら市」

私 は、かすみがうら市が大好きです。その理由は、四つあります。一つ目は、かすみが浦です。日本で一番目に大きいかすみが浦はかすみがうら市の自慢の湖だからです。二つ目は果物や野菜がおいしい事です。おいしい物がたくさんあることはとてもうれしく思います。三つ目は自然が多い事です。私が住んでいる上佐谷は雪山や浅間山などに囲まれています。自然から四季のすばらしさが伝わってきます。四つ目は、地域の人達がみんな、やさしい事です。あいさつをすることが好きになったり安心して学校に通えます。

この四つの事は、かすみがうら市の人達や市外のたくさんの人達に知ってほしいと感じています。それには、みんなで力を合わせて考えていく事が大切だと思います。まず、私も考えてみました。私は、家族で登山やサイクリング、キャンプなどに出かけることがとても楽しみです。そして、その地域の特産品を母と買い物をするのが好きです。かすみが浦の湖岸をサイクリングしたり、船にのったりおいしい特産品をみんなに食べてもらいたいなあと思いました。かすみがうら市の自然の中ですばらしい思い出を作ってほしいです。だから地域の人達も、色々な季節のかすみがうら市を知ってほしいと思います。

最後に困っている人が少ないかすみがうら市になってほしいです。住んでいる人も、働いている人も、笑顔を忘れずに暮らしていけたらいいなあと思いましたが、どついたら、その願いがかなうか私はまだ考えつきませんが、これから、色々な勉強をする中で、少しずつ考えていきたいと思えます。そして、私の住んでいる上佐谷に来ておいしい果物を食べてみてください。

標や財務諸表に基づく分析を踏まえ、事業の優先順位の設定や負担とサービスの適正化

後期基本計画の全文は、市ホームページに掲載しています。
トップ↓行政↓まちづくり計画

第5章「みんなでつくる連携と協働のまちづくり」の体系と主な数値目標

- 第1節 市民活動の支援
 - [1] コミュニティづくり
 - 1. コミュニティ活動の推進
 - 2. コミュニティ施設の整備
 - [2] 協働体制
 - 1. 市民参加のまちづくり
 - 2. ふるさと支援者を生かしたまちづくり
- 第2節 男女共同参画の推進
 - [1] 男女共同参画社会
 - 1. 市民意識の啓発
 - 2. 社会参画への支援
- 第3節 広報・広聴活動の充実
 - [1] 広報・広聴
 - 1. 広報活動の推進
 - 2. 広聴活動の充実
- 第4節 行政サービスの向上
 - [1] 行政運営
 - 1. 行政改革の推進
 - 2. 情報システムの整備
 - 3. 窓口サービスの向上
 - 4. 広域行政の推進
 - 5. 総合計画の進行管理
 - [2] 財政運営
 - 1. 計画的・効率的な財政運営
 - 2. 財源の確保
 - 3. 経費の節減

指標	実績値		目標値	指標の考え方
	H22年度末	H28年度		
市集落センター連絡協議会への加入団体数(団体)	27	33		ふるさとづくりを推進するため、様々な地域づくり活動を展開し、加入団体の増加を目指す。
行政区への加入割合(%)	72.8	75.0		区長会と連携し、行政区に加入している世帯割合を増やす。
市民懇談会の開催(回/年)	1	1		市民懇談会を毎年開催する。
ふるさと大使の委嘱者数(人)	6	50		市の活性化に協力する「ふるさと大使」の増加を目指す。
男女共同参画社会啓発事業への参加者数(人/年)	74	81		講演会や啓発事業などへの参加者数の増加を目指す。
ホームページのアクセス数(件/年)	172,109	189,000		ホームページのアクセス数の増加を目指す。
市民提案件数(件/年)	12	15		市民提案件数の増加を目指し、過去の実績から設定した。
第2次行政改革大綱及び実施計画の達成項目の割合(%)	48.27	100		計画期間中に目標達成100%を目指す。
公共施設予約システム利用者数(人/年)	5,593	7,000		スポーツ施設予約システムの活用を促進し、利用者数の増加を実績から設定した。
照明や冷暖房の節電による経費削減額(円/年)	-	200,000		地球温暖化防止及び東日本大震災以降の電力不足に対応するため、経費の削減を図る。

絵画コンクール作品

テーマ：未来のかすみがうら市

後期基本計画策定にあたり平成22年度に実施した絵画コンクールの入賞作品を紹介します。



《市長賞》△七会小学校5年生(当時)の作品



《教育長賞》

△七会小学校
4年生(当時)の作品



《教育長賞》

△上佐谷小学校
6年生(当時)の作品